

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5037	(H.24)No.	5037
-----------	------	-----------	------

事務事業名		消防施設費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
消防本部		消防救急室		辻本 全教	63-5990
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	消防組織法

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施 策	2	消防・救急
	小 施 策	1	消防体制の充実・強化
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	452001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	消防費	消防施設費	
項	消防費	(小事業名)	
目	消防施設費	消防施設費	

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>消防水利施設と消防団拠点施設の維持、管理経費 ・防火水槽や消防ポンプ庫等を維持管理していくため、消耗品の購入や修繕等を行う。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>消防施設を適正に維持、管理し迅速・的確な災害対応を行う。</p>
---	--

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	消防施設費 1,890千円 (需用費 1,671千円) (原材料費 219千円)	消防施設費 5,388千円 (需用費 1,600千円) (委託料 3,554千円) (原材料費 220千円) (補償補填 14千円)	補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	1,890千円	5,388千円	1,905千円	1,905千円	1,905千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金	1,777			
	県支出金	888			
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 1,890	2,723	1,905	1,905	1,905
人工数	職員	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 1,460千円	1,460千円	1,460千円	1,460千円	1,460千円
+ 総事業費	(0千円) 3,350千円	6,848千円	3,365千円	3,365千円	3,365千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	棟	52	52	52	53	54
	実績		52	52	52	53	
活動指標	目標	基	406	411	411	412	412
	実績		406	411	411	412	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
順調に目標を達成できている。	引き続き、事業を推進し、より良い成果を得られるように努める。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
今後、防火水槽や消防ポンプ庫等の老朽化に伴い、修繕費の増加が見込まれる。	・防火水槽の漏水及びフェンス改修要望 ・環境面から防火水槽の有蓋化の要望

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載 災害に迅速・的確に対応するため、継続して消防施設を維持、管理していく必要がある。

特記事項